



# 木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2021年3月14日(日) 9:30~12:00(晴)

参加者 一般:5名(うち中学生2名)

指導員:4名

## テーマ 「動き始めた虫を探そう！」

暖かになって桜のたよりも届き、蝶の飛び姿も見られるようになりました。

今日のテーマは虫ですが、観察会の開始時は風が強く、これでは蝶は飛ばないだろうと、まずは咲き始めた花を観ることとしました。公園なのでいろいろな樹木が植えられています。ハクモクレン、ベニバスモモ、アメリカハナノキ、ミヤマウグイスカグラ、サンシュユなどはほぼ満開で、シナレンギョウ、トサミズキなどは咲き始めといったところです。

10時を過ぎた頃から風が弱まり、モンキチョウの飛び姿が見られるようになりました。体を温めるためか、陽だまりによく止まっていました。また、風の当たらない堤防の南側法面ではベニシジミが何頭もニホンタンポポの花に来ていました。幼虫で越冬し、この春に羽化したばかりの春型の個体で、紅色と黒色の模様が鮮やかでした。他にもナナホシテントウや花に来て蜜を集めるセイヨウミツバチやハナアブの仲間の姿が見られました。

この日一番盛り上がったのはマヒワの群と出会った時です。3月6日の下見の時に40羽程の群を見たので、運がよければ観察会でも出現するかもしれないと期待していました。途中で大野極楽寺公園のアキノシの木に群がいると聞いて行ってみると、アトリが混じた数10羽のマヒワの群がいました。時折、地面に落ちているアキノシの実をついばみに、地上に下りたり、近くの木に移動したりしていました。ここでマヒワを見るのは初めてのことです。日光の中で鮮やかな黄色と緑の体色をじっくり鑑賞できました。

その後も、アオジの水浴びやベニマシコの姿を堪能できました。(報告:齋竹)

### <その他観察できたもの>

鳥:ノスリ、トビ、ツグミ、キジバト、ドバト、ヒヨドリ、ムクドリ、コゲラ、ジョウビタキ、シジュウカラ、エナガ、セグロセキレイ、メジロ、モズ、カワラヒワ、ホオジロ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ウグイス(囀り)

虫:キタテハ、ツバメシジミ、ツチイナゴ

その他:アメリカザリガニ

花:コブシ、オオイヌノフグリ、ニホンタンポポ、コハコベ、ミチタネツケバナ、イヌナズナ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、ユキヤナギ、シキザクラ、ウメ、ボケ、ハナノキ、ヤブツバキ、ベニバナトキワマンサク



(ミヤマウグイスカグラの花を観察)



トサミズキの花



モンキチョウの♂



春型のベニシジミ



アトリとマヒワの群